

## I 卓球を始めたきっかけ

卓球を始めたのは、中学一年生の時でした。(実際ボールを打たせてもらったのは中学二年生になってからでしたが。)

その年、愛知県体育館で、卓球の世界選手権が行われていたこともあり、一年生の入部希望者が100人ほどいて、面接で60人ほど入部できなかったようでした。

運よく入部したものの、来る日も来る日も球拾いとトレーニングばかりでしたので、学年末には10人ほどしか残っていませんでした。(このトレーニングをするという生活習慣が、後で大きくものを言ったと思っています。)

練習は、体育館で週三日、あと三日は外でトレーニングのみ、日曜日は必ず体育館での練習がありました。(当時は、土曜日は午前中授業があったのです。)ただ、卓球には詳しくないのですが、熱心に面倒をみてくれる顧問の先生との出会い、そして卓球が大好きな5人の仲間がいてくれたことで、全国中学校卓球大会に出場できました。

このことは、私の人生に大きな影響を与えたと思います。

## II 高等学校で

家が裕福でなかったこともあり、高校進学は近くの公立高校普通科と決められていたので、学校で十分な練習はできませんでした。

時々、「練習に来ないか」と、声をかけてくれる高校の先生があったのでそこへお邪魔をして、まとめて練習をするという環境でした。

幸いにも、シングルスでインターハイに出場することができたこともあり、家族に無理を言って、筑波大学体育専門学群に進学をしました。当時は入試の種目に卓球が無かったため、ハンドボールで受験をしました。

## III 大学で

中学・高校と全国大会に出場したのですが、まったくと言っていいほど基本ができておらず、大学一年生のころは、毎日の練習は、カットの基本練習に明け暮れました。

二年生になり、一学年上の井上雅晴先輩に組んでもらったダブルスで関東学生選手権ベスト8に入り、全国国公立で優勝することができ、大きな自信になりました。

三年生の時、国公立の合宿があり、いろいろな大学の選手と交流できたことは、よい人生経験になったと思います。

私自身、全国国公立で、シングルスもダブルスも優勝しているのですが、教え子も一人全国国公立のシングルスで、もう一人やはり全国国公立のダブルスで優勝してくれています。

全国国公立は、国公立大学という難関大学に入学しないと出場できません。このことは、自分の指導の自信につながっています。

#### IV その後

大学卒業と同時に、名古屋市立東陵中学校に勤務しました。

体育館での練習は、月・火の二日だけ、他の日は、音楽室とその廊下で練習することになっていました。日曜日も、三時間ほど体育館で練習ができるといった環境でした。「自分自身の中学生のころと比較しても、より過酷な環境だな。」と、思っていました。

自分自身の、中学生の時の感想と反省で、一年生にも、短時間ではありましたが、毎日練習する時間を設けるようにしました。最終的には、7年間で中学校二校に勤務。その間、全国中学校卓球大会に、学校対抗延べ4回、個人戦に延べ9人出場しました。この環境で全国大会に出場できたことは今思うと奇跡だと思います。(詳細は、7 大学時代の恩師である倉木常夫先生の、「チャンピオンを目指す卓球Ⅲ」に載せていただいています。)

自身も年をとってからも試合に出ていました。選手として、愛知県から東京選手権にシングルス・ダブルスで出場しました。教え子の太田年則君(平成8年筑波大学卒)と組んだダブルスでは、43歳・45歳の時に中部日本卓球選手権大会でベスト4に入賞しました。(ダブルスで勝ち残ると、『大学生の時に組んでいた井上雅晴先輩と組んで何かの試合に出場できないものかな。』とも、よく思ったものです。)

私は、現在名古屋市立高校に再任用短時間(週三日)で勤務しています。「60歳で退職をしたら、何事にもとらわれず、悠々自適に過ごそう。それまでは、自分にできることは、何でも頑張ろう。」と、38年間だけ頑張るつもりでしたが、「年金問題」で、64歳(42年目)のいまだに卓球部の面倒を見ている。

#### V 卓球から学んだこと

下線aのように、その時はあまりうれしくなかったことも、後になると、「あの時に身に着けた生活習慣がよかったな。」と、思うことが多々あるのではないのでしょうか。

下線の1から7までのように、私の人生において、いろいろな方との出会いがあったことが、自分の人生のプラスになったと思っています。教えてくれた方、一緒に頑張ってくれた方、教える聞いてくれた方、そういう出会いはいつも偶然であったと思います。しかし、そういう方々との出会いを大切に努力してきたことが、自分にとって大きな財産になったと思っています。

出会いは偶然ですが、それを大切にするかどうかで、結果はかわってくるのではないのでしょうか。

以上